

4-2 技術力による選定

4-2-1 プロポーザル方式の拡大と総合評価落札方式の技術力重視

(1) 技術力による選定の重要性

建設コンサルタント業務は、当該業務の受注者の技術力によって、完成した施設やシステムの品質、ライフサイクルコストに多大な影響を与えることとなる。したがって、当該業務の受注者の選定は業務特性に対応した技術力を適切に評価して厳正に実施されなければならない。これに対する協会の具体的な取組みは、**第5章**に示す発注者との意見交換会（表 5-1-1）に示している。

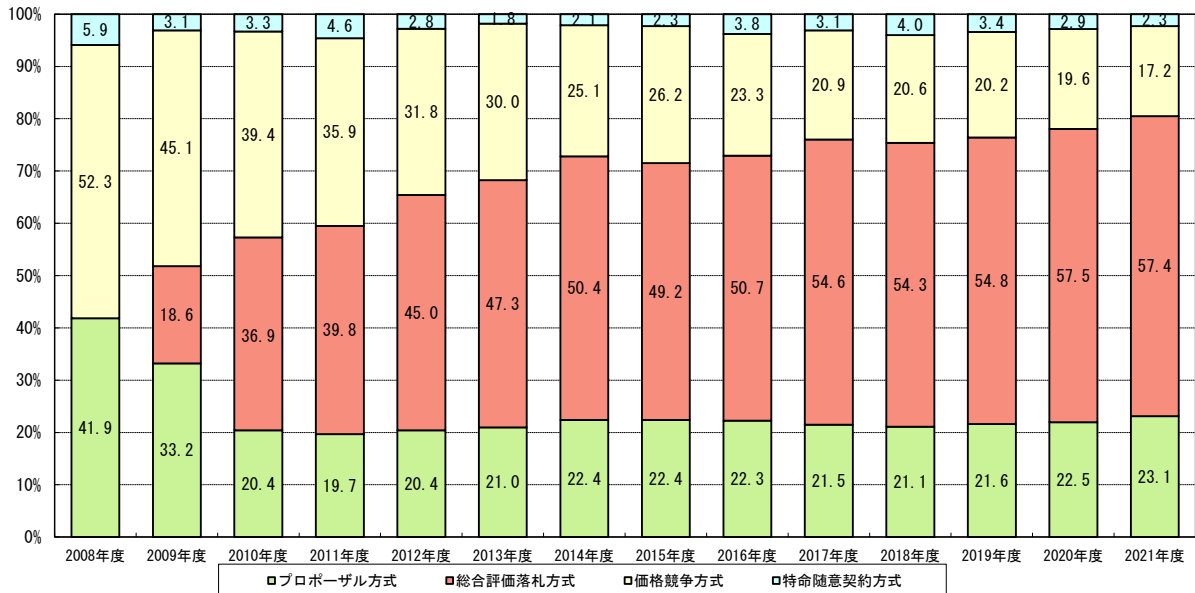
1) 現行の契約方式

現行の契約方式には大きく分けると、価格競争方式、特命随意契約方式及び総合評価落札方式の3方式がある。なおプロポーザル方式は、技術提案により特定を受けたものが随意契約を行うことになるため、契約方式としては特命随意契約方式に含まれる。

2) プロポーザル方式及び総合評価落札方式の実績

a) 国土交通省

国土交通省全体では図 4-2-1 に示すように、プロポーザル方式と総合評価落札方式の件数の割合は拡大しており、地方整備局によりばらつきがあるものの、徐々に技術力を重視した選定方式が定着しつつある。



出典：国土交通省直轄工事等契約関係資料から集計

図 4-2-1 国土交通省土木関係コンサルタント業務の発注方式別契約件数の比率の推移

b) 地方公共団体

地方公共団体では、表 4-2-1 に示すとおり価格競争方式による契約方式が 84.6% と多くを占め、プロポーザル方式や総合評価落札方式が極めて少ない。しかし、表 4-2-2 にあるように総合評価落札方式による発注件数が全体の 75% を超える先進的な地方公共団体も現れている。

表 4-2-1 契約方式別発注件数

		都道府県		政令指定都市		合計	
		件数	比率	件数	比率	件数	比率
価格競争方式	一般・公募	3,638	10.4%	1,852	56.3%	5,490	14.4%
	指名	25,620	73.5%	1,161	35.3%	26,781	70.2%
	小計	29,258	83.9%	3,013	91.6%	32,271	84.6%
総合評価落札方式	一般・公募	2,552	7.3%	15	0.5%	2,567	6.7%
	指名	287	0.8%	0	0.0%	287	0.8%
	小計	2,839	8.1%	15	0.5%	2,854	7.5%
プロポーザル方式	一般・公募	95	0.3%	17	0.5%	112	0.3%
	指名	14	0.1%	0	0.0%	14	0.0%
	小計	109	0.4%	17	0.5%	126	0.3%
特命随意契約方式		2,659	7.6%	245	7.4%	2,904	7.6%
合計		34,862	100.0%	3,290	100.0%	38,155	100.0%

出典：協会「令和4年度都道府県・政令指定都市の入札契約方式に関する実態調査報告書（令和3（2021）年度発注業務調査）」（2023（令和5）年1月データ）

表 4-2-2 総合評価落札方式による発注件数の多い地方公共団体

地方公共団体	総合評価落札方式（件）	総件数（件）	比率
N	558	755	73.9%
I	252	318	79.2%
A	229	698	32.8%
S	173	634	27.3%
T	154	362	42.5%
M	150	466	32.2%

出典：表 4-2-1 と同じ

3) 現状の選定方式における問題点

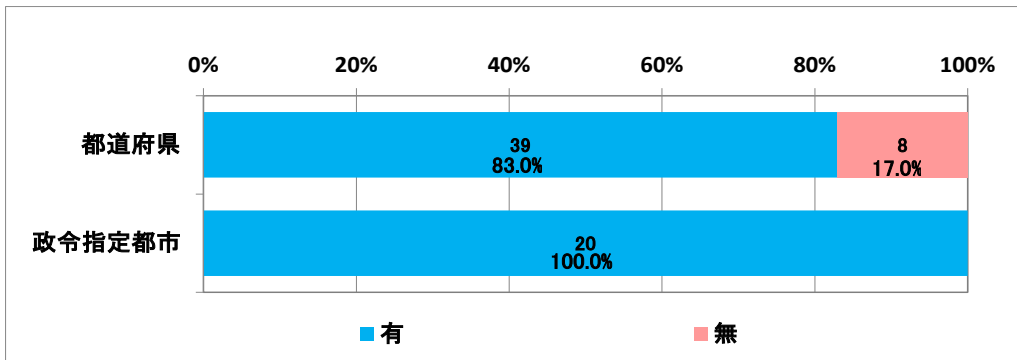
a) 価格競争に関わる問題

建設コンサルタント業務の費用は、全体事業費に比べて小さい（3～5%程度）が、高度な技術力に基づく業務成果は、高い社会的価値を提供し、最終的に社会資本整備の品質向上・コスト削減・工期短縮に反映される。このことから、建設コンサルタント業務の調達においては、原則として価格競争ではなく、技術力、企業特性により受注企業を選定する方式を基本にする必要がある。

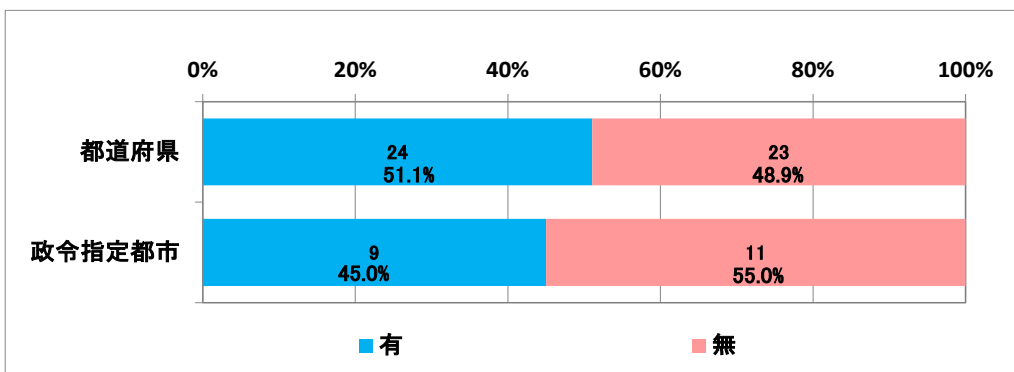
b) 地方公共団体の低価格入札の問題

図 4-2-2 に地方公共団体の価格競争方式の状況を示しているが、最低制限価格制度等の低価格入札対策を実施していない地方公共団体では、極端な低価格入札が頻発している。また、最低制限価格制度を導入している地方公共団体でも、予定価格が事前公表される場合には、最低制限価

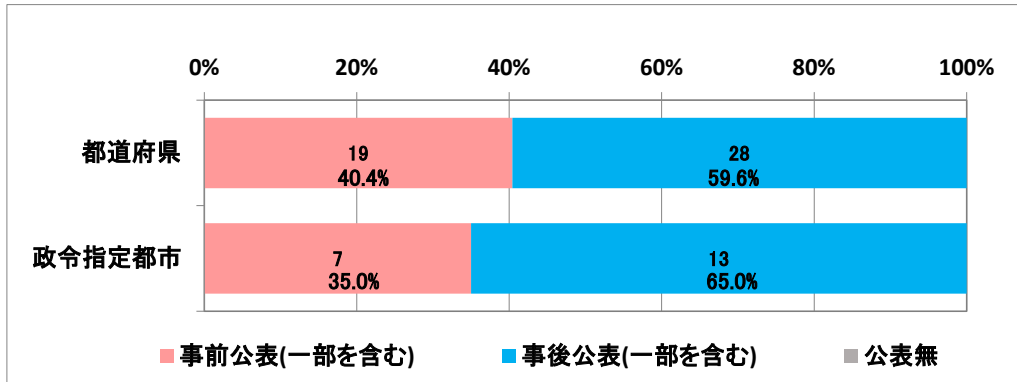
格の同額入札者多数によるくじ引きで落札業者が決まる問題がある。



(a) 都道府県・政令指定都市の最低価格制限の設定状況（価格競争方式）



(b) 都道府県・政令指定都市の低入札調査基準価格の設定状況（価格競争方式）



(c) 都道府県・政令指定都市の予定価格の公表（価格競争方式）

出典：協会「令和4年度都道府県・政令指定都市の入札契約方式に関する実態調査報告書（2021（令和3）年度）発注業務調査」（2023（令和5）年1月データ）

図4-2-2 都道府県・政令指定都市の価格競争方式の状況

c) 地方公共団体の価格競争方式に関わる問題点

地方公共団体の入札契約形式については、表4-2-3に示すように、未だ大多数の地方公共団体が価格競争方式による発注方法を最も多く採用しており、そのなかでも指名競争入札を多く採用している（表4-2-1）。しかし、指名競争入札方式の採用理由、指名企業の選定に関する基準の整備や選定情報の開示が不十分な場合がある。

表 4-2-3 (1/2) 都道府県において発注件数の多い入札契約方式の順位とその都道府県数

	1 位		2 位		3 位		4 位	
	自治体数	比率	自治体数	比率	自治体数	比率	自治体数	比率
価格競争方式	42	89.4%	4	8.9%	1	2.7%	0	0.0%
総合評価落札方式	4	8.5%	16	35.6%	12	32.4%	2	12.5%
プロポーザル方式	0	0.0%	0	0.0%	11	29.7%	13	81.3%
随意契約方式	1	2.1%	25	55.6%	13	35.1%	1	6.3%
合計	47	100.0%	45	100.0%	37	100.0%	16	100.0%

(対象：47 都道府県)

表 4-2-3 (2/2) 政令指定都市において発注件数の多い入札契約方式の順位とその政令指定都市数

	1 位		2 位		3 位		4 位	
	自治体数	比率	自治体数	比率	自治体数	比率	自治体数	比率
価格競争方式	19	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総合評価落札方式	0	0.0%	2	12.5%	0	0.0%	2	66.7%
プロポーザル方式	0	0.0%	1	6.3%	4	100.0%	1	33.4%
随意契約方式	0	0.0%	13	81.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	19	100.0%	16	100.0%	4	100.0%	3	100.0%

(対象：19 政令指定都市)

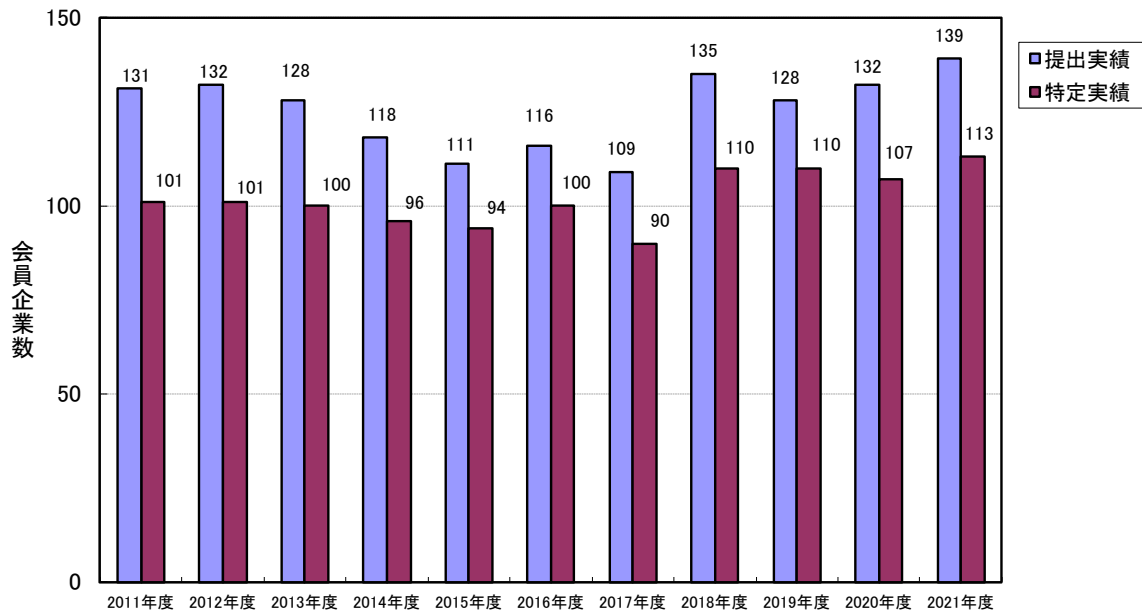
注) 表中の1位～4位の順位は各地方公共団体で採用されている入札契約方式の順位を地方自治体数で集計したもので、2位以下の自治体数については入札契約方式を採用されていない場合、合計数が一致しない。

出典：表 4-2-3(1/2) (2/2) とともに、協会「令和4年度都道府県・政令指定都市の入札契約方式に関する実態調査報告書（令和3年度発注業務調査）」（2023（令和5）年1月データ）

(2) プロポーザル方式の更なる活用

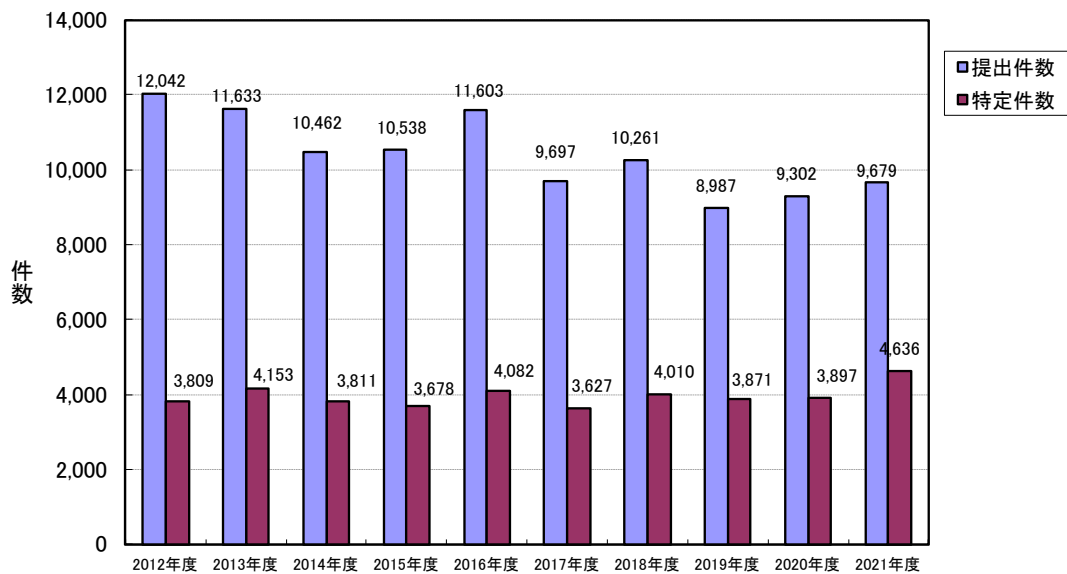
プロポーザル方式に関しては、提出実績及び特定実績のある会員企業数、提出件数及び特定件数は、年度による若干の増減はあるものの、ここ数年は横ばい傾向にある（図 4-2-3、図 4-2-4）。

これは、既存資料閲覧に大きな負担がかかっていることや、少額業務のプロポーザル等、業務規模に対して参加表明書や技術提案書作成の負担が過大になること等のコストに係る問題、地方公共団体を含めてプロポーザル方式による発注そのものが少ないことなどが主要因と考えられる。多くの建設コンサルタントが参加し、特定されるプロポーザル方式を拡大するためには、既存資料閲覧等の省力化、より簡易な方式の採用、参加表明書及び技術提案書の提出様式の統一化、地方公共団体等におけるプロポーザル方式による発注の増大などが望まれる。



出典：協会「平成 22 年度プロポーザル方式及び総合評価落札方式アンケート調査報告書」（平成 23）年 5 月）～協会「令和 4 年度プロポーザル方式及び総合評価落札方式アンケート調査報告書」（2023（令和 5）年 5 月データ）

図 4-2-3 会員企業のプロポーザル方式の提出実績会員企業数の推移



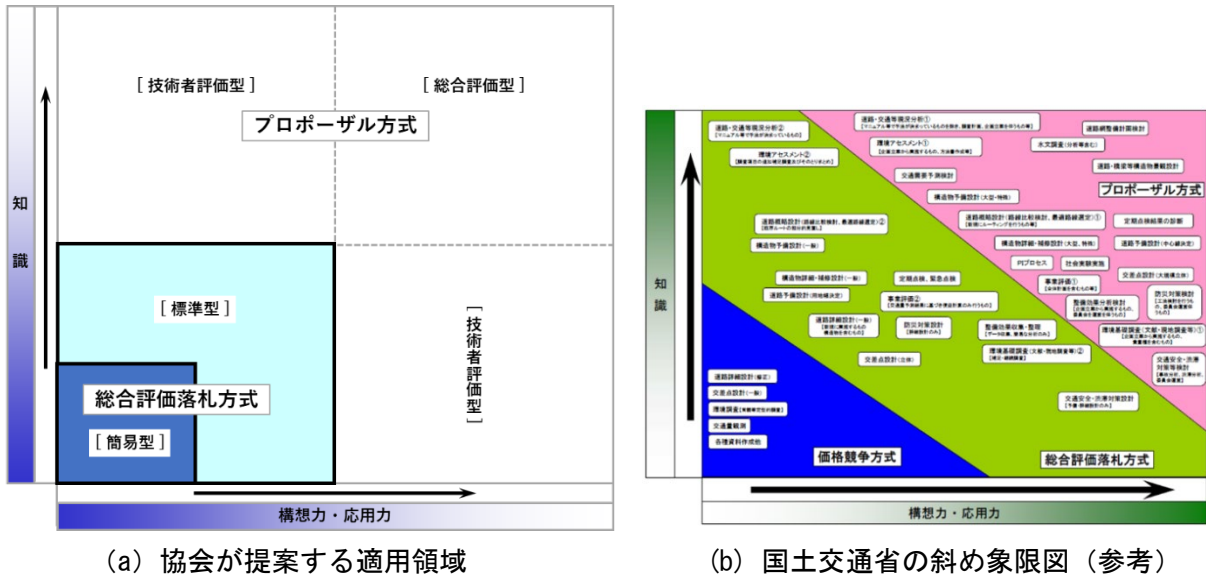
出典：図 4-2-3 と同じ

図 4-2-4 プロポーザル方式の提出件数及び特定件数の推移

(3) 総合評価落札方式の運用

1) 総合評価落札方式適用業務

協会では技術力による選定を進めるために、国土交通省の斜め象限図（図 4-2-5 (b)）等を参考に、プロポーザル方式、総合評価落札方式、価格競争方式の適用対象業務の区分を図 4-2-5 (a) 及び表 4-2-4 のように考えている。この区分では、従来、価格競争方式が適用されていた領域のなかでも、技術力により業務成果に差が生じる業務については、総合評価落札方式が適用されるべきものとして提案を行っている。



出典：国土交通省資料を参考に協会において作成

図 4-2-5 プロポーザル方式と総合評価落札方式の適用領域

表 4-2-4 業務の特性による契約者特定方式の区分

	業務プロセスと業務量が明確（定型）	業務プロセスと業務量が不明確（非定型）
技術力により業務成果に差が生じる	技術と価格を総合的に評価（総合評価落札方式）	技術力（プロポーザル方式）
技術力により業務成果に差が生じない	価格（価格競争方式）	—

出典：国土交通省資料を参考に協会において作成

2) 技術力を重視する運用

総合評価落札方式は、技術点差が僅差の傾向が続いているため、落札差（落札率と最低応札率の差）も僅差の傾向が続いており、結果的に価格競争方式とした場合とほとんど変わらない実態となっている。また、地方整備局によっては、積算条件の開示が不十分なことが、価格点が「無効」となる要因の一つになっていると推測される。

このことから、今後、難易度の高い業務における総合評価落札方式からプロポーザル方式への移行業務の累加や総合評価落札方式における落札率の改善により、技術力を重視した運用を増やすことが望まれる。また、国土交通省の総合評価落札方式での落札率が調査基準価格付近に集中しており、価格競争方式の平均落札率より低くなっている（2021年4月～12月における国土交通省の総合評価落札方式の平均落札率は83.1%、価格競争方式の落札率は87.1%：協会調べ）。品質の確保・向上、適正な利潤確保、働き方改革の推進に向けて、総合評価落札方式における適正な技術評価と技術力を重視した運用により、適正な価格での受注環境を構築することが望まれる。

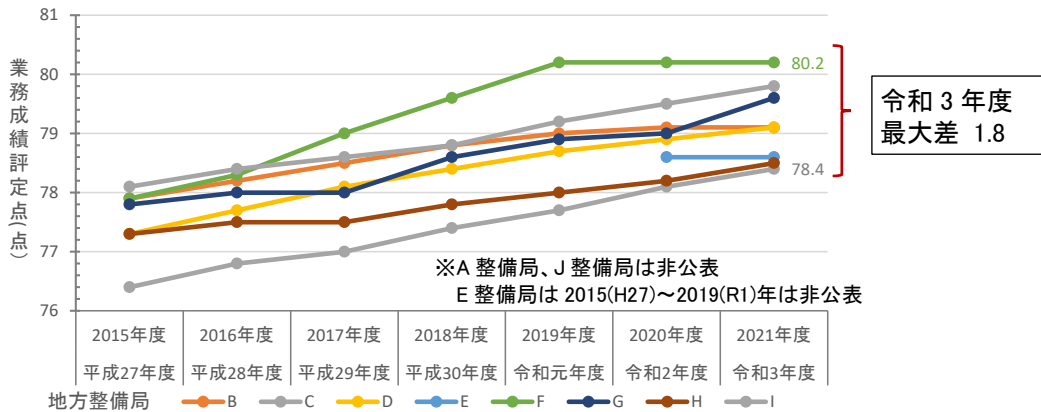
3) 地方公共団体における実績重視型総合評価落札方式の導入

技術評価を行う人員が不足している地方公共団体においては、技術提案を省略し、担当技術者の業務実績や業務成績等で評価する実績重視型の総合評価落札方式の導入・拡大が進められる場合がある。

4-2-2 業務表彰制度等の改善

(1) 業務成績評定要領の運用改善について

業務成績評定は、速やかにかつ細目も含めて通知されることが必要である。また、是正に向かってきた各地方整備局の評定点格差が再び大きくなる傾向にある（図4-2-6）。近年、総合評価落札方式の加点要素である業務成績評定点の平均点は、各地方整備局業務の平均点ではなく、全国業務の平均点を採用する地方整備局が多くなってきている。業務成績評定点の平均が相対的に低い地方整備局を中心に受注している企業にとっては他の地方整備局への参加が不利になることから、地方整備局間の格差を是正するなど統一的な運用が望まれる。



出典：各地方整備局の公表又は整備局からの提供データ（2023（令和5）年3月）より作成

図4-2-6 各地方整備局の業務成績評定点の平均点の推移

(2) 表彰に関する地方整備局間のばらつきのは是正

業務成績と同様に表彰も技術力による選定の重要項目であるが、表彰比率（表4-2-5）を含む地方整備局間の運用にばらつきがあるため、統一的な運用が望まれる。また、表彰における選定基準、表彰付与の考え方などを開示されることが望まれる。

表4-2-5 各地方整備局の表彰件数と発注業務件数に占める比率の実態調査結果

地方整備局	2021年度(令和3年度)表彰							2022年度(令和4年度)表彰						
	局長表彰		事務所長表彰		契約件数	業務表彰の比率		局長表彰		事務所長表彰		契約件数	業務表彰の比率	
	業務表彰	技術者表彰	業務表彰	技術者表彰		局長	事務所長	業務表彰	技術者表彰	業務表彰	技術者表彰		局長	事務所長
A	32	32	74	73	2,468	1.30%	3.00%	37	36	83	80	2,457	1.51%	3.38%
B	46	46	117	117	1,295	3.55%	9.03%	43	43	138	138	1,311	3.28%	10.53%
C	66	66	70	70	1,485	4.44%	4.71%	68	68	93	93	1,721	3.95%	5.40%
D	20	10	30	30	1,009	1.98%	2.97%	21	8	36	35	1,087	1.93%	3.31%
E	34	33	61	62	1,434	2.37%	4.25%	34	33	61	62	1,420	2.39%	4.30%
F	32	29	66	62	1,468	2.18%	4.50%	32	29	66	91	1,468	2.18%	4.50%
G	29	29	32	32	986	2.94%	3.25%	29	29	33	33	983	2.95%	3.36%
H	12	19	63	55	938	1.28%	6.72%	11	15	63	59	835	1.32%	7.54%
I	33	34	134	74	1,705	1.94%	7.86%	36	34	81	71	1,637	2.20%	4.95%
J	3	1	6	5	158	1.90%	3.80%	3	3	7	-3	146	2.05%	4.79%
合計	307	299	653	580	12,946	2.37%	5.04%	314	298	661	659	13,065	2.40%	5.06%

注1) 港湾・空港関係を除く（2021年度表彰契約件数は、H地方整備局を除き港湾・空港関係を除く件数）

注2) 一部地方整備局で2016年度から導入された“部長表彰”は事務所長表彰に加算した。

出典：協会各支部の調査結果による（2023（令和5）年3月）

表 4-2-6 表彰運用の実態 (1/2)

地方整備局	評価対象期間	評価対象とする地方整備局等※2	企業に対する評価の有無※3	技術者に対する評価の有無※4	備考
本省 ガイド ライン	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去2年 技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去2年 技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地方整備局等に共通する業務を、代表する地方整備局等が発注する場合には、同等に評価する。
A	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去2年 技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去2年 技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績が2回以上あり。 ②局長表彰+部長表彰の実績あり。 ③局長表彰の実績が1回あり、又はi-Con 大臣賞の受賞あり。 ④部長表彰の実績あり、又はi-Con 優秀賞の受賞あり。 ⑤i-Con 奨励賞の受賞あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～⑤の5段階で評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②部長表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象業務は同じ事業部門(道路や河川など)に限る。 海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度により表彰された海外実績も、評価する。 ①海外インフラ大臣賞は局長表彰と同等に評価する。 ②海外インフラ奨励賞は部長表彰と同等に評価する。
B	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去5年 技術者 ; 過去5年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去5年 技術者 ; 過去5年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①同種業務の局長表彰。 ②類似業務の局長表彰、同種業務の部長表彰又は事務所長表彰。 ③類似業務の部長又は事務所長表彰、同種・類似業務以外での局長表彰。 ④同種・類似業務以外での部長表彰又は事務所長表彰。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～④の4段階で評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①同種業務の局長表彰。 ②類似業務の局長表彰、同種業務の部長表彰又は事務所長表彰。 ③類似業務の部長又は事務所長表彰、同種・類似業務以外での局長表彰。 ④同種・類似業務以外での部長表彰又は事務所長表彰。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～④の4段階で評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式において当該地方整備局以外の評価対象としては、国土技術政策総合研究所、国土地理院も評価対象とする。 当該地方整備局発注業務が主であるが、高度で専門的な技術が要求される業務は、原則他地方整備局発注業務も同等に評価する。
C	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去2年 技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去2年 技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①優良業務表彰(局長)を受けた経験がある者。 ②優良業務表彰(部長、事務所長)を受けた経験がある者。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①優秀技術者表彰又は優良業務表彰を局長より受けた経験がある者。 海外インフラ大臣賞を受けた経験のある者。 ②優秀技術者表彰又は優良業務表彰を部長又は事務所長より受けた経験がある者。 海外インフラ奨励賞を受けた経験のある者。 事業促進PPP業務を管理・主任技術者の立場で従事した経験がある者。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	-
D	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去4年 技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去4年 技術者 ; 過去4年 	<ul style="list-style-type: none"> 発注方式に関わらず以下の2ケースを運用している。 ①国交省及び沖縄事務局発注業務の表彰 ②当該地方整備局発注業務の表彰 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰または生産性向上技術活用表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	-
E	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去2年 技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業 ; 過去2年 技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> 当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績を有する。 ②事務所長表彰の実績を有する。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①海外インフラ大臣賞の実績あり。 ②海外インフラ奨励賞の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> R4.8ガイドライン改訂に伴い「当該地方整備局以外で契約手続きを行った連記業務は対象としないことを明記」。

※1：着色部は他の地方整備局とは異なった運用をしている事項を表す。

※2：国交省、沖縄事務局発注業務は、国土交通省各地方整備局、北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注業務を表す(港湾空港関係を除く)。

※3：国土交通省 i-Construction 大賞大臣賞→i-Con 大臣賞と略す。国土交通省 i-Construction 大賞優秀賞→i-Con 優秀賞と略す。

※4：海外インフラ海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣賞→海外インフラ大臣賞と略す。海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣奨励賞→海外インフラ奨励賞と略す。

※5：業務分野とは、河川事業、道路事業、都市事業、下水道事業、測量調査、地質調査、建築の分野の指定の有無を表す。

表 4-2-6 表彰運用の実態 (2/2)

地方整備局	評価対象期間	評価対象とする地方整備局等 ^{※2}	企業に対する評価の有無 ^{※3}	技術者に対する評価の有無 ^{※4}	備考
本省 ガイド ライン	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長表彰の実績あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地方整備局等に共通する業務を、代表する地方整備局等が発注する場合には、同等に評価する。
F	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり又は対象2カ年の両年度に部長・事務所長表彰実績あり。 ②部長・事務所長表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰、海外インフラ大臣賞の実績あり、又は過去4年のうち年度異なる2カ年に部長、事務所長表彰又は海外インフラ奨励賞の実績あり。 ②部長、事務所長表彰又は海外インフラ奨励賞の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式の評価対象業務は、当該地方整備局発注業務となっているが、各地方整備局等に共通する業務を代表する地方整備局等が発注する場合には、他地方整備局等の表彰も当該地方整備局の表彰と同等に評価する。
G	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績がある。 ②①の実績がなく、事務所長表彰又は部長表彰の実績がある。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績がある。海外インフラ大臣賞の実績がある。 ②①の実績がなく、事務所長表彰又は部長表彰の実績がある。①の実績が無く、海外インフラ奨励賞の実績がある。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木関係建設コンサルタント業務など業種区分を指定。 ・発注方式に関わらず、一部の業務においては業務内容により、照査技術者の表彰の評価を行う。
H	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①当該地方整備局の局長表彰又はi-Con 大臣賞、i-Con 優秀賞の実績あり。 ②当該地方整備局部長等表彰の実績あり。 ③当該地方整備局管内事務所長からの災害支援等関係功労企業に対する感謝状の実績あり。 ④当該地方整備局以外の局長表彰、事務所長表彰の実績あり。 ⑤土木学会当該支部表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①当該地方整備局の局長表彰又はi-Con 大臣賞、i-Con 優秀賞の実績あり。 ②当該地方整備局部長等表彰の実績あり。 ③当該地方整備局管内事務所長からの災害支援等関係功労企業に対する感謝状の実績あり。 ④土木学会当該支部の表彰の実績あり。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①当該地方整備局局長表彰又は海外インフラ大臣賞の実績あり。 ②当該地方整備局部長等表彰又は海外インフラ奨励賞の実績あり。 ③当該地方整備局以外の局長表彰の実績あり。 ④土木学会当該支部表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①当該地方整備局局長表彰の実績あり。 ②当該地方整備局部長等表彰の実績あり。 ③土木学会当該支部表彰の実績あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行業務にて、表彰を評価しない案件が年数件発注有り。 ・発注方式に関わらず、土木学会、地盤工学会(地質調査業務のみ)、応用地質学会(地質調査業務のみ)の評価対象になるが、表彰件数は1件とする。
I	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①当該地方整備局の局長表彰 ②当該地方整備局の部長・事務所長表彰 ③他地方整備局の局長表彰、部長・事務所長表彰、地盤工学会及び地盤工学会当該支部表彰、土木学会及び土木学会当該支部(技術省)表彰 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①当該地方整備局の局長表彰 ②当該地方整備局の部長・事務所長表彰 ③地盤工学会及び地盤工学会当該支部表彰、土木学会及び土木学会当該支部(技術省)表彰 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①当該地方整備局の局長表彰 ②当該地方整備局の部長・事務所長表彰 ③他地方整備局の局長表彰、部長・事務所長表彰、地盤工学会及び地盤工学会当該支部表彰、土木学会及び土木学会当該支部(技術省)表彰 ④土木学会当該支部(奨励賞)表彰 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①当該地方整備局の局長表彰 ②当該地方整備局の部長・事務所長表彰 ③地盤工学会及び土木学会及び土木学会当該支部(技術賞)表彰 ④土木学会当該支部(奨励賞)表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注方式に関わらず、土木学会、地盤工学会の表彰も評価対象になるが、表彰件数は1件とする。 ・業務分野^{※5}指定があり、該当分野があれば、配点が高く、他地方整備局の表彰も同等に評価しない。 ・海外インフラ大臣賞は局長表彰と同等に評価する。 ・海外インフラ奨励賞は部長表彰又は事務所長表彰と同等に評価する。
J	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業 ; 過去2年 ・技術者 ; 過去4年 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省及び沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰の実績あり。 ②事務所長(部長)表彰の実績あり。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ①局長表彰、又は海外インフラ大臣賞 ②事務所長(部長)表彰、又は海外インフラ奨励賞 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式と同様に上記①～②の2段階で評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式における国土技術政策総合研究所長表彰は局長表彰と同等に評価する。

※1：着色部は他の地方整備局とは異なった運用をしている事項を表す。

※2：国交省、沖縄事務局発注業務は、国土交通省各地方整備局、北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注業務を表す(港湾空港関係を除く)。

※3：国土交通省 i-Construction 大賞大臣賞→i-Con 大臣賞と略す。国土交通省 i-Construction 大賞優秀賞→i-Con 優秀賞と略す。

※4：海外インフラ海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣賞→海外インフラ大臣賞と略す。海外インフラプロジェクト優秀技術者国土交通大臣奨励賞→海外インフラ奨励賞と略す。

※5：業務分野とは、河川事業、道路事業、都市事業、下水道事業、測量調査、地質調査、建築の分野の指定の有無を表す。

表 4-2-7 成績（業務成績評定点）運用の実態

地方整備局	当該地方整備局内のみ 業務成績評定点の評価対象 (沖縄事務局含む) ^{※1}	沖縄事務局含む他地方整備局の成績評価 ^{※2}	成績評価の業種区分 ^{※3} 、 業務分野 ^{※4} の指定の有無	評価対象期間	備考
本省 ガイド ライン	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績データの蓄積の度合に応じて、対象業務の拡大、細分化や年数の延長ができるもの（最大8年）とする。
A	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局の実績がない場合、国交省、沖縄事務局発注業務の同じ業種区分の平均業務評定点と同等に評価する。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局の実績がない場合、国交省、沖縄事務局発注業務の同じ業種区分の平均業務評定点と同等に評価する。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者として従事した実績が評価対象
B	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去5年 ・技術者：過去5年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去5年 ・技術者：過去5年 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価対象業務の実績がない場合でも、特殊法人等、地方公共団体、地方公社、公益法人、又は大規模な土木工事を行う公益民間企業の実績を確認できる場合は74点（土木・地質）、73点（測量）で評価する。
C	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業7段階、技術者7段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業6段階、技術者6段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 	<p>—</p>
D	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。（企業6段階、技術者12段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。（企業6段階、技術者12段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地方整備局、沖縄事務局発注業務を評価対象としない。（加点されない） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地方整備局、沖縄事務局発注業務を評価対象としない。（加点されない） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去4年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去4年 ・技術者：過去4年 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式は管理技術者18段階評価、担当技術者9段階評価が標準である。 ・総合評価落札方式は事務所による運用の差はあるが、管理技術者13段階評価、担当技術者9段階評価が多い。
E	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地方整備局、沖縄事務局発注業務を評価対象としない。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 	<p>—</p>
F	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階、同種・類似9段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階、同種・類似9段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 ・同種・類似：10年間 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 ・同種・類似：10年間 	<ul style="list-style-type: none"> ・期間内に完了した100万円以上の業務実績がないため、業務成績を評価できない場合は、当該地方整備局における過去2ヶ年の業務成績評定の平均値の評価の1ランク下の評価とする。 ・管理技術者の同種又は類似業務の成績も評価され、過去10年間の国交省、沖縄事務局発注業務において提案のあった2件の業務評定点の平均で評価する。
G	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（平均業務成績評定点を比例配分） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（平均業務成績評定点を比例配分） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 	<ul style="list-style-type: none"> ・71～79点の評価点は平均業務評定点に応じて比例配分し、70点以下は加点しない。 ※5 ※6
H	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地方整備局発注業務を評価対象とする。（企業9段階、技術者9段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行業務にて、国交省実績のない企業は自治体（県）における同種・類似業務の業務成績を直轄業務と同等に評価 ・試行業務にて、業務成績を評価しない案件が年数件発注有り。
I	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業8段階、技術者8段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業6段階、技術者8段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定無し ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定無し ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者評価重視型の場合は12段階評価
J	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業6段階、技術者6段階） <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。（企業6段階、技術者6段階） 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省、沖縄事務局発注業務を評価対象とする。 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業種区分：指定有り ・業務分野：指定無し 	<p><プロポーザル方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 <p><総合評価落札方式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業：過去2年 ・技術者：過去4年 	<ul style="list-style-type: none"> ・営繕・港湾空港事業を除く。

※1：着色部は他の地方整備局とは異なった運用をしている事項を表す。
 ※2：国交省、沖縄事務局発注業務は、国土交通省各地方整備局、北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注業務を表す（港湾空港関係を除く）。
 ※3：業種区分は、土木関係建設コンサルタント、測量、地質調査、補償関係コンサルタントの4業種の指定の有無を表す。
 ※4：業務分野は、河川事業、道路事業、都市事業、下水道事業、測量調査、地質調査、建築の分野の指定の有無を表す。
 ※5：海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度により認定された業務実績（同種又は類似業務の実績がある場合は、当該地方整備局における完了した土木関係建設コンサルタント業務の平均業務評定点を評価対象とし、評価項目別配点に1/2を乗じた配点とする）。
 ※6：当該地方整備局管内の都道府県のいずれかが発注のテクリス登録された「主な業務の内容：〇〇業務/業務分野：〇〇」の実績がある場合は、当該業務評定点を評価対象とし、評価項目別配点に1/2を乗じた配点とする。